

## 伊豆大島

概況(平成 15 年 8 月)

火山活動は、落ち着いた状態が続きました。

地震活動は、落ち着いた状態が続きました。地殻変動の観測では、火山活動によると見られる顕著な変化はありませんでした。噴煙は、観測されませんでした。

地震活動の状況

地震回数は、1日当たり0～3回で、落ち着いた状態が続きました(表1、図1～2)。

火山性微動は、観測されませんでした。

表1 火山性地震日別回数表(伊豆大島)

上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日		旬計	
	2	3	1	2	1	2	0	1	0	0		12	
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日		旬計	
	0	0	0	0	0	1	0	1	1	2		5	
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	旬計	月計
	0	2	2	0	0	1	1	1	2	0	1	10	27

短期・日別 地震活動推移(最近2年間の火山性地震の日別回数)

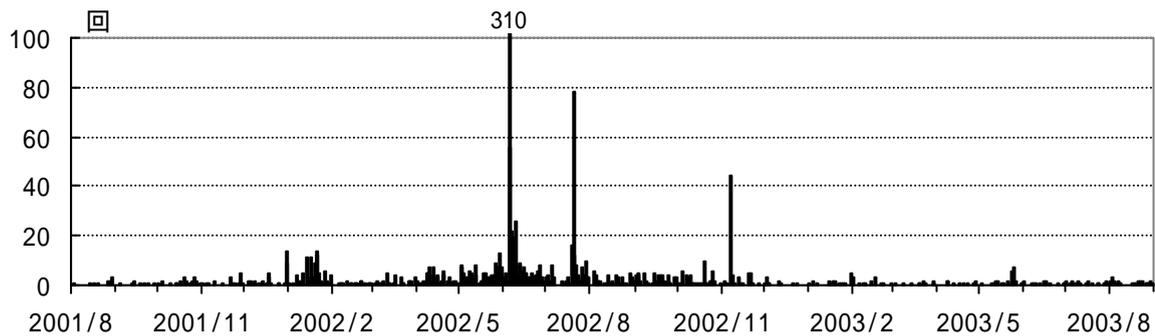


図1 伊豆大島 火山性地震日別回数(2001年8月1日～2003年8月31日)

長期・月別 地震活動推移(1961年1月以降の火山性地震の月別回数)

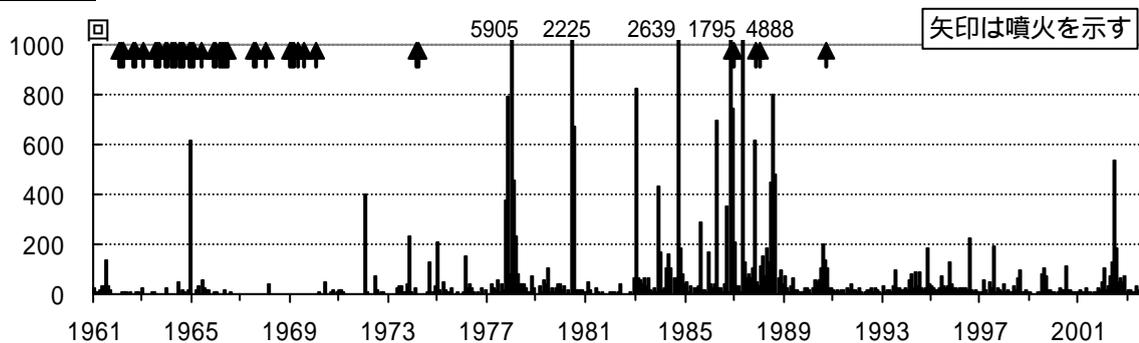


図2 伊豆大島 火山性地震月別回数(1961年1月～2003年8月)

噴煙活動の状況

遠望カメラによる観測では、噴煙は観測されませんでした。

地殻変動の状況

今期間(2003年8月)はGPS及び光波距離計による観測では、火山活動によるとみられる変化はありませんでした(図3 - ~)。なお、GPS観測を開始した2001年3月からの長期的な変化を見ると、火口を挟む方向の2つの基線長(大島北西外輪 - 差木地奥山・差木地奥山 - 津倍付)が伸びを示しています。光波距離計(南北方向)の観測では、長期的な伸長傾向は2000年以降停滞しています(図4、5)。GPSの大島北西外輪 - 津倍付基線長(光波距離計と同じ南北方向)でも、変化はありませんでした(図3 - )。

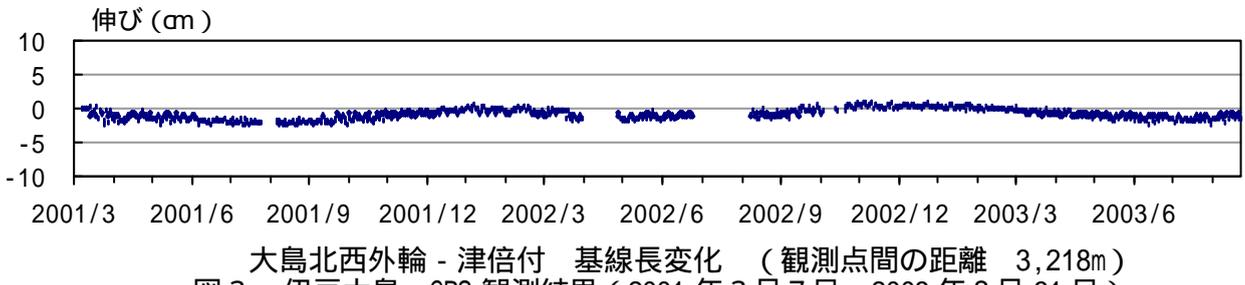
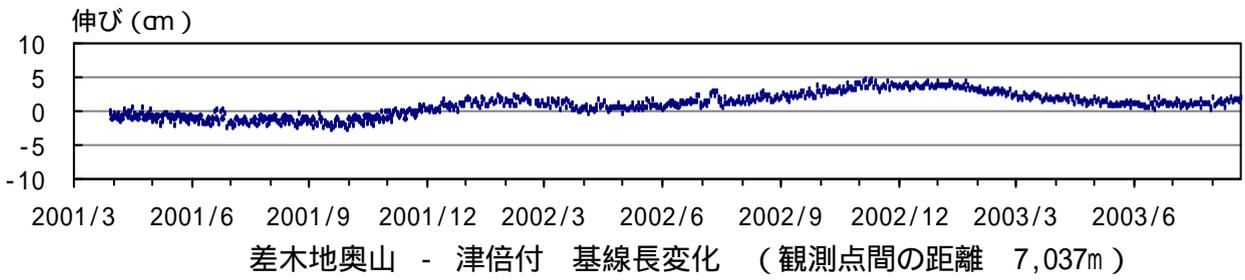
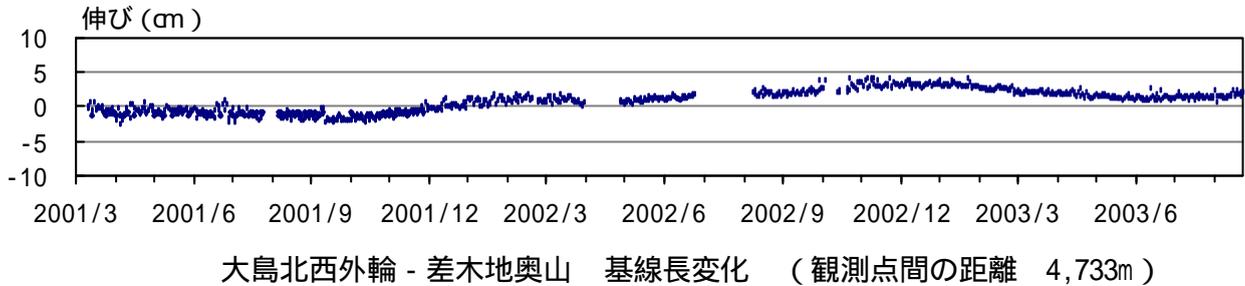


図3 伊豆大島 GPS観測結果(2001年3月7日~2003年8月31日)

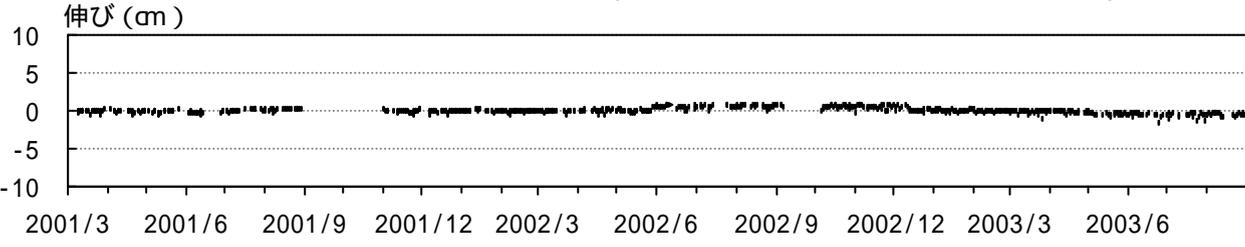


図4 伊豆大島 光波距離計 斜距離変化日平均値(2001年3月1日~2003年8月31日) 津倍付 - 神達 (観測点間の距離 1,902m)

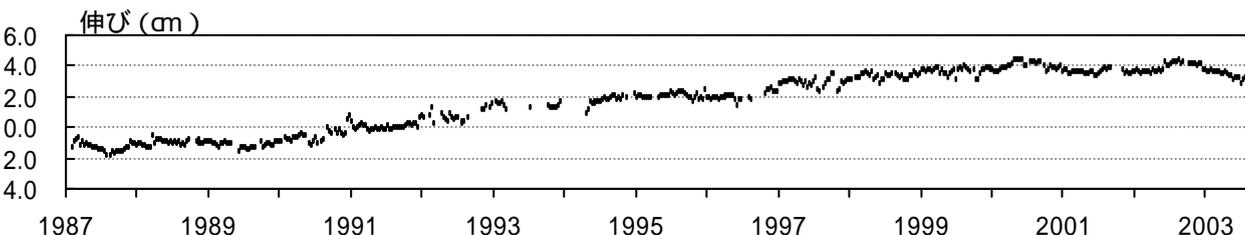


図5 伊豆大島 光波距離計 斜距離変化旬平均値(1987年~2003年8月) 津倍付 - 神達 (観測点間の距離 1,902m)

